

ひかり通信

(発行) 埼玉県議会議員 森田 光一

<http://www.morita-k.net>



“源動力情報” 埼玉から政策発信 ～成功モデルで日本を元気に！～

埼玉県は、全国にアピールできる取組みを次々に実行しています。その成果を積極的に情報発信することで日本を変える“源動力”になりたいと考えています。※源動力とは、日本を元気にする湧き出るようなエネルギーな力を意味する造語。

最重要成果（10事業からの抜粋）

- ① 24時間ドクターヘリ体制を防災ヘリ活用で整備
- ② 民間協働で資源循環モデル施設を集積

埼玉県ドクターヘリは平成19年10月の運航開始よりおよそ2年半がたちました。さらに、昨年の平成21年7月からは、24時間運航を行っている防災ヘリコプターの活用により早朝・夜間におけるドクターヘリの運航が実現されました。



秩父防災基地に夜間着陸する防災ヘリ

全国初の県直営広域埋立最終処分場「埼玉県環境整備センター」（寄居町）の敷地内に、民間リサイクル施設を集積した「彩の国資源循環工場」を整備しました。この施設は民間の技術力・経営力と公共の計画性と信頼性を生かして、廃棄物の適正処理とリサイクルを進めていくことを目的とします。



彩の国資源循環工場

- ③ 日本一の防犯ボランティアが治安を守る

埼玉県では、県民が安心・安全に暮らせる社会をつくるため、犯罪が起りにくいまちづくりを進める防犯ボランティア活動を積極的に応援しています。愛称は「わがまち防犯隊」です。平成16年4月末には、515団体だった活動団体数が、平成20年7月末現在、4,686団体と約9倍に増加。数はもちろん日本一です。



わがまち応援隊のパトロール

- ④ 子育て家庭を応援する「パパ・ママ応援ショップ」に全国最多の店舗が参加

子育て家庭を応援するために平成19年5月から地域の店舗や企業の協力を得て、協賛店舗や各地施設で割引等のサービスが受けられる「パパ・ママ応援ショップ」事業を実施しています。協賛店舗数は全国最多の8,418店です。（平成20年11月25日現在）



- ⑤ 開業医による拠点病院の診療支援を拡充
- ⑥ 起業家やベンチャー企業を“とことん”支援
- ⑦ 安心感とスピード感のある中小企業融資の実行
- ⑧ 奨学金貸与水準全国一を実現
- ⑨ 寄付者の意向を反映できるNPO基金寄附制度の創設
- ⑩ 老後も安心して暮らせる共助ボランティア活動を支援

埼玉県政のトップリーダー上田清司知事と共に歩む



県議会議員として7年間、上田知事とのしっかりとした信頼関係ができました。



東松山市のまちづくりに埼玉県政の支援をしっかりと要望し、語り合ってきました。



食と農業のフェスティバルに参加しました。ちよっとひと息のつもりが政策の話で盛り上がり…



熊谷高校時代 (昭和43年～46年)

クラブ活動は歴史と伝統のある(?)弁論部で3年間大声を張り上げていました。2年生で部長に担がれ「全関東高等学校弁論大会」を主催しました。折しも学生運動が過激化した時代でしたので、我が熊谷高校としても何かしなければ、どうせなら目立つこと(?)をしよう!と、学校から熊谷駅までデモ行進をしました。目的は何だったのか良くわかりませんが、熊谷女子高校の前の道はルートにしっかり入っており、一層シュプレヒコールに力が入ったことは覚えています。



埼玉大学時代 (昭和46年～51年)

入学した学部学科は中学校の英語の先生になるところだったわけですが、この頃(1970年代前半)はロック全盛期で、すっかり私もその気になり、大学のロック研究会で髪を伸ばしバンドに狂っていました。



社会人時代 (昭和51年～)

大学卒業後、教師の道は選ばず、父の友人の経営する測量会社で修行。翌年、父と測量設計会社を設立しました。26歳で結婚し、2人の男の子が生まれました。


政治家になるきっかけ

29歳で東松山青年会議所という団体に入会し、ボランティアや政策立案、イベント、仲間、酒?活動はとてもやりがいがあり、絆が地域や国を育てるものなのだ実感しました。政治家とは程遠いながらも、心の中に種をまいていたのでしょう。入会8年目に推薦され(社)東松山青年会議所第11代理事長に就任し、その翌年には(当時39歳)東松山市教育委員に選任され、心の中の種に必要な水と養分をいただきました。この頃から政治に対する関心が頭をもたげてきたようです。3年後には統一地方選挙において東松山市議会議員に初当選し2期目に副議長に就任しました。フィールドを広げ現在は埼玉県議会議員2期目。あの頃まいた種は着実に成長し続けています。これまでのプロセスを思い返すと、私に課せられた使命が「政治の道」であるという確かな思いを感じています。



もりたこういち パーソナル・データ

趣味 味：ゴルフ、野球、読書(あらゆるジャンル)
 好きな食べ物：カレーライス、カスタードクリーム
 好きな映画：松山ケンイチ主演の『男たちの大和』名作です。大泣きました。
 子供の頃の夢：学校の先生
 尊敬している人：安岡正篤(やすおかまさひろ)、吉田松陰
 好きな言葉：『知行合一』知識と行動は合致していなければならないという考え。
 その他：猫を2匹飼ってます。(和ネコの「ススム」と、洋ネコの「ビビアン」)



森田光一
平成二十二年五月吉日

「虫の目、鳥の目、魚の目」
 物事の見極め方に「虫の目、鳥の目、魚の目」という視点があります。「虫の目」は、細部まできちんと見極める能力。「鳥の目」は全体像をしっかり見渡す能力。「魚の目」は時間の流れの中で現在と未来を見通す能力です。

政治に真のリーダーシップが求められている今、「鳥の目」や「魚の目」が特に重要です。地域や国家の全体像が見えない政治家は、とかく「虫の目」だけで物事を考えてしまいがちです。今や、政治家にとって「虫の目、鳥の目、魚の目」は標準装備でなければなりません。

私はその上に、「日本人の目」を持つよう心掛けてきました。日本人の精神性には長年の間、取捨選択された一定の価値観が基本にあります。すなわち、勇気、誠実、正義感、慈愛、忍耐、礼節、惻隠、名誉と恥、卑怯を憎む心など、

私は市議、県議の十五年間、常にこうした心情を旨として政治に取り組んできました。新しい東松山市は、皆さんと私の手の中にあります。さあ、共に大きな一歩を踏み出しましょう。

ひがしまつやま「元気創造計画」
 ★キーワード：7つのK
 経済・環境・教育・健康・共生・公共・K...
 ★私がつくります!元気な東松山市 戦略10プラン

- 1、「トップが動く」未来投資型のまち
- 2、「ひとつの比企」と「チャンスあふれる」まち
- 3、「子育てが楽しい」まち
- 4、「市民の元気」と「安心医療介護」のまち
- 5、「安全・安心生活快適」のまち
- 6、「みどりエコ」のまち
- 7、「確かな教育」で「元気な松山っ子」のまち
- 8、「市民力アップ」で「共生」のまち
- 9、「危機に備える」確かなまち
- 10、「きっちりメリハリ市政経営」のまち

森田光一のプロフィール
 昭和27年12月21日東松山市高坂に生まれる(現在57歳)

○学歴
 埼玉県立熊谷高等学校卒業
 埼玉大学教育学部卒業
 中央校学校測量課卒業

○仕事
 森田光一土地家屋調査士
 行政書士事務所所長

○経歴
 (社)東松山青年会議所理事長
 東松山市商工会青年部高坂支部長
 東松山市教育委員
 東松山市議会議員(2期)
 平成7年～15年
 *副議長
 埼玉県議会議員
 平成15年～
 *福祉保健医療委員長
 *総務県民生活委員長

森田光一ブログ
「気合いだー！」
 こまめに更新しています。
 ぜひご覧ください。

